

MOHAMAD TAHA

タハ・モハマド アサド

モンタージュスペース

映画と建築の製作・非製作・再製作

montage**space**

Cinema and the Making, Un-Making and Re-Making of Architecture

Summary of Thesis

モンタージュ

元来「組み立てる」というフランス語。転じて映画の編集技術用語となった。各ショットをつなぎ合わせることは、映像に空間と時間の座標を与え意味を生み出すことである。ショットそれ自体は中立的な素材ではない。映像の意味はモンタージュを通してはじめて分節化される。

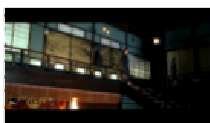
アクト 1. **定義**

アクト 2. **分析**

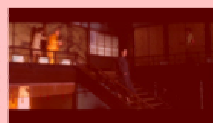
アクト 3. **設計**

1. 数列

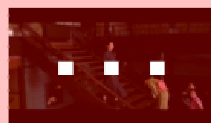
時間を縮む / 伸ばす



A-1



A-2



A-3



A-4



A-5



B

2. 並置

クレショフ効果

クレショフ効果

レフ・クレショフ (1899 - 1970) は同一の俳優のクロースアップにそれぞれ違った場面を繋ぎ、二番目のショットによって最初のクロースアップの表情の意味が異なって見えるのを実証した。



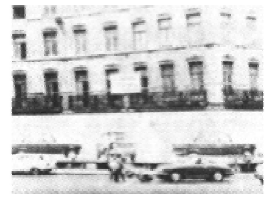
A-1



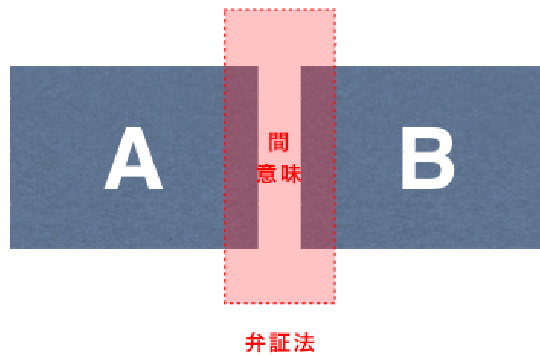
A-2



B



A-3



モンタージュ理論

1920年代、クレショフ工房に出入りしていたセルゲイ・M・エイゼンシュテイン (1898 - 1948) は、二つのショットを並置し、ぶつけあわせることで第三の、独立した、まったく新しい意味をもたらす独自のモンタージュ論を展開した。

『戦艦ポチョムキン』

エイゼンシュテインの『戦艦ポチョムキン』(1925)はその集大成である。ツァーの軍隊と蜂起した民衆の緊張感溢れるモンタージュは、ロシア革命の意義を観客に効果的に伝えるものである。また 1920 年代後半、映画のモンタージュの洗練と足並みをそろえ、複数の写真で作品を構成するフォトモンタージュが隆盛をみた。

